

# 男子 函高専 念願の支部初V

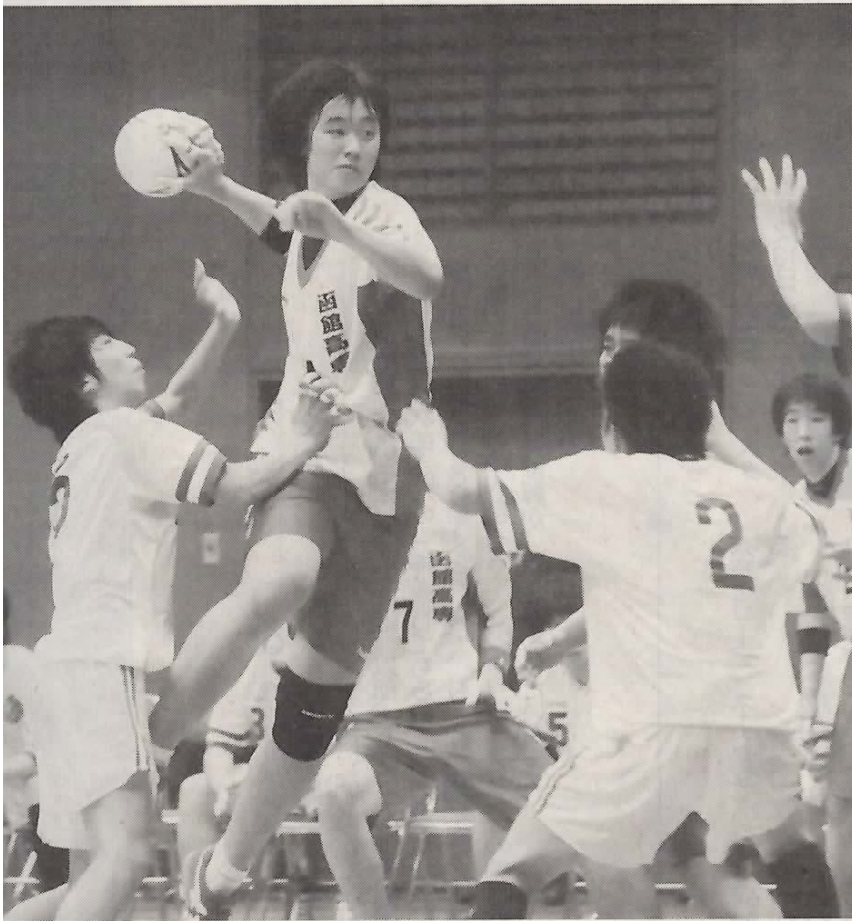
## 高体連春季大会

ハンドボールは函館市民体育館で最終日を迎え、決勝を行った。男子決勝は函高専が18-17で函大有斗を下して初優勝を飾った。女子決勝は市函が25-4で函中部を圧倒した。柔道の最終日はフ・サール体育館で個人戦を行った。男子は団体戦との2冠を達成した60級の鎌田拓(函工2年)など7階級で優勝者が生まれ、無差別で争われた女子は旭明理(函大谷3年)が1位に輝いた。

(小林省悟 後藤真)

# 激闘 1点差で勝利

### 一丸で粘り強く守り切る



## ハンドボール

1点差の激闘を制した函高専が創部5年目で初めて支部の頂点に立った。長谷川軍司コーチは「函館で勝つことが念願だった。よく頑張った。選手たちを褒めてやりたい」と手放して喜んだ。

2008年に全国高専大会を制覇し、翌年の09年には同大会で準優勝。しかし、道内でもトップレベルを誇る函館支部では栄冠をつかめなかった。それでも昨年の秋は準優勝と頂点に一步近づいている。さらに3月の函館市長杯で大学生との好勝負を繰り広げ、そのまま好調を維持。長谷川コーチは「これだけできたのは市長杯に参加させてもらったおかげ。いい勉強になった」と話す。

初戦の函大柏稜に29点差、準決勝では11点差と弾みをつけて、決勝の函大有斗戦に挑んだ。終盤に4連続得点を奪うなど、1点をリードして後半に中盤から足が止まりかけたが、GKの笹沼知靖(3年)が好セーブを連発。選手たちに勇気を与え、1点のリードのまま逃げ切った。川村拓史主将(同)は「粘り強く守れた。初優勝はすごいうれしい」とほかにんだ。勝利に貢献した笹沼は「自分の仕事ができただけ。高体連ではもっと点を離して勝ちたい」と胸を張った。



勝を飾った男子函高専

函高専18	▽決勝	函大有斗26	▽準決勝	函工32	▽1回戦
711		1313		32	
710		1311		4	清尚学
17		24		11	函大柏
函高専		16		23	函中
18		15		40	函大
		11		24	専
		15		11	専
		16		11	専
		17		11	専
		17		11	専